

第24回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和2年2月28日（金）午後1時35分～
- 開催場所 遠軽町役場3階第3会議室
- 記者数 3人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、定例記者会見、今回の議題についてご説明申し上げます。

■新型コロナウイルスへの対応について

最初に、新型コロナウイルスへの対応についてであります。

新型コロナウイルスが指定感染症とされ、北海道においても患者が発生したことから、町としても住民の不安等を取り除くため、2月14日にホームページや公共施設等に新型コロナウイルスに対する正しい知識や、手洗い・咳エチケットなどの感染予防策についてのパンフレットを掲示したところであります。

また、2月26日に開催した役場部長以上等による第3回新型コロナウイルス対応会議において、感染拡大防止策の一環として、町主催の屋内で開催する50人以上の不要不急のイベント等については、3月11日まで中止又は延期することとしたところであります。

なお、各種団体等に対しては、町の方針について周知を図ることとしております。

また、集団による感染の拡大を防止することが極めて重要であることから、町立の小中学校については、2月27日午後から3月4日まで休校とし、それに合わせて、町の保育所、児童館、学童保育、母子通園センターについても閉所することとしました。

保護者の皆様方には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

遠軽町としましては、国、道、第2種感染症指定医療機関である遠軽厚生病院などと情報共有を図りながら、引き続き、感染拡大防止に努めて参ります。

■いわね大橋災害復旧工事について

平成30年7月4日に被災して以来、通行止めとなっている、いわね大橋について、最終工程である鋼製の橋桁を架設する工事を発注した旨、

オホーツク総合振興局網走建設管理部から報告を受けました。

工期は、本年8月末日ということであり、被災から2年の歳月を経ていよいよ開通の目途が立ったことに、大変喜ばしく思っているところであります。

これまで住民の皆様には、通勤通学はもちろん、通院や日用品の買い物など、日常生活に支障をきたしてきましたが、工事関係者をはじめとする関係各位の更なるご尽力により無事に工事が完成し、一日も早く開通することが強く望まれるところです。

本町としましては橋桁の架設に伴う、上下水道管の添架工事を発注したところであり、工事完成後は安定した水道水の供給や南町下水ポンプ場の負担軽減が図られます。

また、いわね大橋の大きな役割のひとつである、市街中心部と東町・向遠軽地区が、再び結ばれることで経済活動が活性化するものと期待を寄せているところです。

■遠軽町芸術文化交流プラザ「愛称」及び「ロゴマーク」採用作品の決定について

現在、建設が進められている遠軽町芸術文化交流プラザの「愛称」と「ロゴマーク」の採用作品がこのほど決定いたしました。

平成31年4月から令和元年5月までの期間、各作品の一般公募を行ったところ、全国よ

り愛称作品304点、ロゴマーク作品112点の応募がありました。あらためて、応募いただいた皆様に感謝を申し上げます。

これらの作品の中から、北海道遠軽高等学校の生徒たちによる選考と、遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討協議会による審査が行われ、愛称については、町内在住の舟山佳恋さんから応募のありました「メトロプラザ」の採用が決定いたしました。

採用の理由としまして、音楽と鉄道、文化・経済の中心地を意味する「メトロ」という表現が、建設の基本理念と合致していることが高く評価されたものであります。

次に、ロゴマークについては、大阪府豊中市在住の住田修さんから応募のありました作品の採用が決定いたしました。

住田さんの作品は、音楽ホールを直感的にイメージさせるデザインを基調とし、遠軽町の豊かな自然や町民による新たなにぎわいの創出をイメージさせた色鮮やかな色彩が印象的な作品であることが高く評価されたものであります。

長年にわたり、多くの町民の皆様が親しまれ続ける施設となるよう、広報紙やホームページをはじめ、あらゆる機会を通じ、愛称とロゴマークの活用を図って参ります。

■2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ビレッジプラザ内覧会への出席について

1月29日、東京都中央区晴海において、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ビレッジプラザの内覧会が開催され、遠軽町から私が出席して参りました。

このビレッジプラザは、全国63の自治体から提供された木材を活用して建設されたもので、大会期間中は選手の憩いの場となるものであります。

内覧会には、63の自治体が参加し、開催に先立ちまして森組織委員会会長や小池東京都知事、本郷林野庁長官の挨拶があり、その後、関係者の案内により施設内を見学しました。

本町が提供した町有林のトドマツを製材した120本には、「北海道遠軽町」の刻印が押され、施設の床材のほか、フェンス等に使用されております。

特に床材は、施設の玄関から入ってすぐの、非常に目立つ場所に使われているため、遠軽町にとって大きなPR効果が期待されるものであり、大変良い企画に参加できたことをとても喜ばしく思っているところであります。

この木材は大会終了後、町に返還されますが、返還前には、選手たち（オリンピック）に、記念のサインをしてもらうような取り組みをしたいという説明もあり、町としては、今後、その活用方法について、検討していくこととしております。

また、オリンピック関連の取り組みとしましては、これまで展示林から採取した種で苗を育成しておりますので、オリンピックイヤーの本年中に、家庭学校展示林において、植樹祭を開催して参りたいと思っております。

■遠軽町合葬墓について

次に合葬墓についてであります。

少子高齢化や核家族化などの時代背景もあり、墓の継承や管理が困難であるという住民の声も大きくなってきたところであります。

町では、平成31年度、町が管理する合葬墓整備の予算措置を行い、昨年11月に六郷聖苑隣接地の水穂墓地の敷地内に合葬墓が完成したところであります。

名称は「六郷合葬墓」であり、条例案を12月定例会に提案し、継続してご審議をいただいているところであります。

使用の条件につきましては、申請者または埋蔵される方が、「遠軽町に住所や本籍があった場合」や、「町内の墓地を使用していて、合葬墓への改葬を行い、墓地を返還する場合」としてまいります。

使用料は、焼骨1体につき3万円とし、5体を超える場合は15万円を上限として提案しております。また、希望があった場合は、使用者の負担で、墓誌掲示板を使用することができます。

この合葬墓は、納骨方法の選択肢の一つとして設置するものであり、一つのお墓に血縁等にこだわらない、複数の方のお骨を納める合葬式であるため、一度納骨すると後から返還はできないものであります。

現在、今年4月からの供用開始に向けて準備を進めているところであり、詳細につきましては、広報紙やホームページでお知らせをして参ります。

■白滝浄水場について

平成30年度から施工して参りました白滝浄水場が、3月に完成いたします。

この浄水場は、平成29年度の調査開始から約10億円を費やし、水源を河川水から地下水に切り替えるとともに、計画給水区域をひろげ、1日の最大給水量も369トンから458トンに増量されます。

既存の浄水場は、昭和38年度に設置されたもので、施設の老朽化も著しく、これまで大雨や融雪時には濁りがひどく、断水したこともありました。この浄水場が完成することによりまして、今後は住民の皆様が安定した水道水の供給が図られるものであります。

■FISファーイーストカップ2020遠軽大会の中止について

2月29日から3月2日まで開催が予定されていた「FISファーイーストカップ2020遠軽大会」についてですが、(公益財団法人)北海道スキー連盟から2月26日に、中止の連絡がありました。

この大会は、スキー場のロジックが新しくなって最初の国際大会であり、国内外から170名を超える選手のエントリーもあったので、大変期待をしておりました。

大会中止は非常に残念であります。今の社会情勢を踏まえると止むを得ないものと考えております。

これまで、大会に向けて準備にご協力いただいた関係者の皆様へ感謝申し上げます。

■観光イベント等について

2月22日、遠軽青年会議所の主催により「第5回えんがる屋台村 雪提灯」が開催されました。

このイベントは、4年前から青年会議所が中心となって、陸上自衛隊第25普通科連隊、遠軽建友会などの協力により開催されております。今回も親子連れから年配の方まで、大勢の方にお楽しみいただいたとのことでありました。

2月23日に予定されていましたが、第35回記念、湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会ですが、雪不足のため残念ながら中止となりました。

来年以降につきましても、雄大なオホーツクの自然をお楽しみいただき、全国に当地域の魅力を発信していきたいと考えております。

次に、豊富な資源あふれる遠軽の温泉地を巡る「新えんがる温泉郷 湯めぐりラリー」を、明日2月29日まで開催しています。

遠軽町内にある温泉、「生田原温泉ホテルノースキング」、「セトセ温泉ホテル」、「丸瀬布温泉やまびこ」、「マウレ山荘日帰り温泉ポッケの湯」の4つの温泉に入浴すると、次の入浴がどの温泉でも1回無料で入浴ができ、さらに達成者の中から抽選で豪華景品をプレゼントするというものです。

まだまだ寒い季節が続きますが、冷えた体を町内の温泉をめぐって、身体の芯から温めていただければと思います。

これから、遠軽町は春、そして夏の観光シーズンを迎えます。雪解けが進む4月には、太陽の丘えんがる公園虹のひろばと丸瀬布森林公園いこいの森がオープンを控えており、さらに、5月には太陽の丘えんがる公園の芝ざくらを楽しむイベントを予定しております。

昨年12月22日にオープンした「道の駅 遠軽 森のオホーツク」につきましては、連日、たくさんのお客様にお越しいただき、現在まで、延べ10万人以上の方々にご来場いただいております。

併設するスキー場につきましても、ペアリフト、ナイター照明、人工降雪機の更新などの大規模なリニューアルを行ったところであり、多くのスキーヤー・スノーボーダーに楽しんでいただいております。

道の駅では、一年をとおして楽しめる施設となるよう、ゲレンデや森を活用したアクティビティの導入や各種イベントの開催を予定しております。

そろそろ雪解けも進み、春の訪れを感じさせる季節となります。ぜひ、多くの皆様に、遠軽に足を運んでいただき、遠軽町の春を満喫していただきたいと思っております。